

# つかさ会 会報



2022.2月

会員の皆さま、こんにちは。今年の冬も冷え込みが厳しく、岐阜県の平野部でも例年より積雪が多いのではないかと思います。いかがお過ごしでしょうか。この会報が皆さまの元に届くころには春の気配も感じられる頃になっているかと思います。陽気の良い日も増えてくるかと思いますので、屋外で体を動かす時間を増やしていけたら良いですね。

さて今月は、岐阜大学医学部附属病院 西7階病棟看護師の小枝さんに「さかえ」の読みどころを紹介させていただきます。

つかさ会の皆さん、はじめまして。西7階病棟看護師小枝と申します。西7階病棟へ勤務異動してきて、はや1年4か月を迎えようとしています。以前は、外来で勤務し糖尿病療養指導を担当し多くの方々とお話をしてきました。現在は、コロナ禍で人との交流がままならぬ状況となり多くのストレスを抱えながらの生活となっております。寒さもまだまだ続いておりますがいかがお過ごしでしょうか。

さて、今月号の『さかえ』では、特集として「糖尿病と“しびれ”」(P5)が掲載されております。糖尿病患者さんでしびれで悩んでいるという声をよくお聞きします。最も頻度が高いのは、「糖尿病(性)神経障害によるしびれ」となりますが、「神経障害って聞いたことがあるけどどんな症状?」と思われる方もみえるのではないのでしょうか。P6には「糖尿病神経障害の分類」が掲載されていますので読んでみてくださいね。特集の中では、神経障害の診断・治療についても述べられていますので是非ご覧ください。

さて、春になると入園、入学、進学、就職などによって周りの環境が大きく変化し、身体や心に影響を与えます。安心して新しい生活を迎えることができるように準備が必要ですね。そこで、特別企画1「新生活へ向けて」(P17)では、知っておくとよいこと、準備しておくことなどについて掲載されておりますので目を通してみてください。

最後になりますが、コロナ禍で自粛生活が長く続いており、一人一人の感染予防対策の継続が必要となります。「新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大予防のための手洗い、せきエチケット、3密の回避」(P22)、「感染リスクが高まる〔5つの場面〕」(P24)についても紹介されておりますので、今一度確認していただきたいと思います。人との接触を減らそうと通院を控えることは、糖尿病の悪化を招く原因となりますので、受診間隔、受診方法を主治医と相談し治療の継続をしていきましょう。